

コレゴヌス種苗生産試験

和泉 安洋・尾田 文治

1. 平成 11 年度コレゴヌス・ペレッド種苗生産実績

前年度の種苗生産は、死卵が多く、得られた発眼卵はわずか 25,000 粒で、その後もへい死卵の発生が目立ち、生産尾数は約 3,000 尾と不調に終わった。採卵親魚の高齢化による卵質の低下が原因と考えられからたことから、今回は当施設で飼育していた 3 才魚を親魚に用いて種苗生産試験を実施した。約 100 尾を秋以降、低水温（2 号水系）で飼育することにより成熟促進を図り、平成 11 年 12 月 4 日から 12 月 30 日までの間に親魚 22 尾から約 427,000 粒を採卵した。うち得られた発眼卵は約 175,000 粒で発眼率は約 41%であった。15,000 粒の発眼卵からふ化試験を実施したところ、平成 12 年 3 月 28 日現在で、約 10,000 尾のふ化仔魚が得られ、ふ化率は約 67%であった。これまでの発眼率約 10%、ふ化率約 50%に比べ、好成績であった。

表 1 平成 11 年度試験養殖用 2 才魚配布先

〃	三好町	1 業者	400 尾
〃	井川町	2 業者	800 尾
美馬郡	穴吹町	1 業者	400 尾
名西郡	神山町	2 業者	800 尾
徳島市	川内町	1 業者	400 尾
		7 業者	2,800 尾

2. 平成 11 年度コレゴヌス・ペレッド養殖用種苗の配布実績

前年度の種苗生産は生産尾数約 3,000 尾と不調に終わり、試験養殖用の種苗配布はできなかった。生産された 3,000 尾は親魚候補として継続飼育した。

当施設が平成 11 年度で閉鎖されるため、昨年度から継続飼育していた 2 才魚（約 1009/尾）約 3,000 尾を平成 12 年 3 月に、県内の 7 養殖業者に養殖用種苗として配布した。